寒河江市学校施設整備計画改定（案）
及び寒河江市立新中学校施設整備基本構想（案）説明会 質疑応答

会場：南部地区公民館

日時：令和7年3月6日（木）19時から20時

参加人数：9名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

みらい協働課長

学校再編整備室 室長補佐

学校再編整備室 係長

アジア航測

（発言者A）

最終的には1校になるということですね。そのときに、通学の比較的楽な生徒とえらく大変な生徒、夏冬通して条件が異なると思う。自転車通学を奨励されているわけですね。そうしたときに、生徒さんもなるべく近道を自分で開拓するはずで。そうしたときの通学道路の安全性、防犯含めて、どのような考えでいらっしゃるのか。

あとは、部活、いろんな部活あると思うが、そうしたときに部活に時間がかかり過ぎて、帰宅が大変になったなど。部活と通学する時間について、ハードな部活、外でやるような部活は、難しくなるのではないかと思うのですが。

通学する道路、生徒の安全、防犯含めてどのように考えているのか。

（教育長）

通学路に関してですが、遠くなる子どもさんもいるので、遠いところはスクールバスを活用したいと考えています。昨年実施したアンケートでもスクールバスについては、例えば、2km以上はスクールバスに乗せてほしいという方もいらっしゃいますし、3kmくらいまでは歩かせたいというご意見もありました。そのあたり、どれくらいの距離にするかは、今後の検討委員会等で決めていくことになると思います。文部科学省では、6km以内をひとつの基準としているのですが、6kmは歩くとしても自転車でも大変だと思うので、もっと短い距離からスクールバスを活用していきたいと思っています。また、冬の通学時には自転車が乗れなくなりますので、夏のスクールバスの範囲と冬のスクールバスの範囲を変えることも考えなければならないと思います。例えば、現在の陵西中では、夏は自転車ですが、冬だけスクールバスを活用する地区もあります。そのようなことも考えていかなければならないと思います。

通学路の安全性に関わっては、おっしゃるように子どもたちは近いところを通ろうとしますし、田んぼ道を通ったり、街灯も無くて暗くて危ないといったこともありますので、場所によっては、ここを通るようにとの学校での指導は必要だと思います。実際に、今も中学校では、通学路の安全性確保のために、ここは危ないので、ここは通らずに、こちらを通るようになど、場所によって指導しています。そうした指導も行いながら、子どもたちの通学の安全性を確

保していきたいと思います。

部活動については、時間が遅くならないかということでしたが、現在の部活動の時間は、18時とか18時ちょっと過ぎくらいには終了するというところで行われています。かつては19時過ぎまで練習するような感じでしたが、今はそうではなくて、決められた時間の中で集中して活動する方向になっております。中学校では月曜日から金曜日のうち、2日は部活動のない日にしていますし、土日等の休みについては、部活動ではなくて、外部のクラブに入って活動することになっていくと思いますので、部活動の時間が遅くなって、帰りが遅くなるということは、そんなに考えなくてもいいのかなと思っています。

(発言者A)

それにプラスして、防犯という部分では、テレビとか新聞を見ても、防犯カメラの効果がものすごく大きい。抑止力もあると思います。今後の話として、もっと防犯カメラの設置をひろげて、生徒が安心できる、また、生徒さんだけでなく我々もですけど。防犯カメラの設置を考えていただきたいと思います。

(教育長)

今、学校では校舎まわりには防犯カメラをつけているところが多いですが、今のお話は、通学路についてということだと思います。今、お話がありましたように、カメラがあることで抑止効果があると思いますので、市当局ともいろいろ検討させていただきたいと思います。ご意見ありがとうございます。

(発言者A)

よろしくお願いします。

(発言者B)

南部地区に住むものですが、意見としまして、私はまだ小学生以下の子どももつ親ですが、中学生をもつ親御さんの話を聞きますと、冬は大半が車で送り迎えしていると聞いています。なので、スクールバスは要望を強くしたいなと考えております。

あと、最近は、部活は早くなっているということですが、かつては20時、遅いときは21時まで部活をしており、スクールバスの人たちは17時30分とか18時くらいであがらざるをえなくて、でも、部活動は長く続けなくてはいけなくて、部活によっては、そうした人たちは、親が迎えに行くしかないといったこともありました。なので、スクールバスの帰りの時刻については、部活動の終了にあわせてほしいと思います。平等に部活に参加できるように、近い人は長く部活に参加できるけど、遠い人は早く帰らなければならないといったようなことがないように、スクールバスの時間帯の設定をお願いしたいと思います。

他には、南部地区、街灯が少ないと感じています。だいぶ日も長くなってきているが、秋から冬にかけての通学で、夕方についてはおっかないと思っていますので、街灯の整備をもう少し、町内会から言わなければならないのかわかりませんが、そのあたり寒河江市からも危険な箇所がないかチェックをお願いしたいと思っていますし、この辺の大通りは歩道が非常にせまい。冬場にな

ると除雪はしているようですが、人一人しか通れない、並ぶことができない歩道になっているので、怖いし、あまり雪がひどいと除雪がなっていないこともあって、それをこいでいかなければならない。新中学校までの距離を測ると、今の寒河江高校のグラウンドまで測ると、だいたい4 kmくらいあるんです。そこを雪をこぎながらいくのは、酷で、勉強、部活に労力をかけなきゃいけないところを通学エネルギーを使うことになるなど、非常に心配に思っていますので、道路整備なんかを考えたうえで、新しい中学校整備をお願いしたいなと思います。

(教育長)

スクールバスと部活動の関係で、おっしゃられたように、スクールバスの時間だから早めに帰らざるをえないとならないように、きちんとやっていきたいと思います。学校でも部活動の時間を確保するというところで、曜日によっては、清掃をなしにして6校時が終わったら帰りの会をして、すぐ部活動に入れるような体制をとっているところもあります。以前は、16時30分過ぎくらいから部活動だったと思いますが、早くからスタートして、早めに終了する、そういったことを行っておりますので、今後とも活動時間に配慮していきたいと思います。

(学校教育課長)

街灯につきましては、さきほど申しあげましたが、町会長さんに暗いところを確認してもらって、要望いただければと思います。

(発言者 B)

わかりました。

(発言者 A)

もう1点だけよろしいでしょうか。さきほどの説明の中で、中高一貫という言葉が耳に入ったのですが、将来的に寒河江市にも中高一貫を導入するようなことを視野に置いて、今回のこともあるのでしょうか。

(教育長)

中高一貫まで現段階で視野に入れているわけではないです。山形県教育委員会では、村山、庄内、置賜、最上の4地区に1校ずつは中高一貫校を設置するという基本的な考えがあると聞いています。村山地区には東根市に東桜学館がありますし、庄内には致道館がこの前開校しました。私たちとしては、中学校と高校のいろいろな交流をやりたい。そして、例えば、中学生が高校生のいろいろな活動を見て、「先輩かっこいい。自分も寒河江高校、寒河江工業高校に入って、一緒に頑張りたいな」、そうした思いになってほしいという願いも持っています。さきほどもお話しましたが、例えば、今年の入試、明日、公立高校入試ですが、寒河江高校の探究科と普通科を合わせた倍率はかなり低くて、定員よりも40名くらい少ない状況です。寒河江工業高校も定員の半分をちょっと超えているくらいの状況です。寒河江工業は校舎も新しくなって、生徒たちもがんばっていますが、そういった状況です。なんとか地元で多くの生徒さんに学んでほしいと思っています。新聞等を見ていると寒河江工業、寒河江高校の生徒さんもいろんな分野で活動しています。そういった姿を中学

生が目の当たりにして、自分も地元で頑張りたいという生徒さんを増やしたいという思いもあります。そういった意味でも寒河江高校グラウンドのところは、寒河江工業高校、寒河江高校にも近いですので、連携を深め、一緒に活動ができるのではないかと考えているところです。
(発言者C) 西根小、三泉小の建設予定地を見直すということですが、その他の小学校はどのように考えているのか。
(教育長) 西部地区の高松、白岩、醍醐小学校、この3つの小学校を今のところの計画では令和15年度に高松小の敷地に新しい小学校を建設して統合したいと考えております。その後、三泉、西根の統合校をこれまでの計画では、中学校が統合した後、陵東中学校の敷地と考えていたのですが、今回、市長から統合する病院を、陵東か陵南か陵西の跡地を活用して建てたい。また、さきほどの説明にもありましたが、消防本部も建物や設備を新しくしなければならない。その時に、新たに土地を買ってではなくて、中学校の跡地を活用する方向性が出されています。ですから今回、三泉、西根の統合小学校は陵東中跡地と考えていましたが、今後どうなるかわからないので、一部改定するという事です。陵東の跡地を何に使うかは、まだ決まっていませんが、学校以外に活用すると決まれば、統合小学校は別なところになると考えております。 あと、寒河江小、寒河江中部小、南部小、柴橋小があるわけですが、これについては、今後の子どもたちの人数とかを考えながら検討していくとしています。基本的には小学校はなるべく地元に近いことを大事にしたいと思っています。そういう意味で、西部地区の3つの小学校を統合しても、各学年1クラスにしかならないのですが、西部地区の1つの拠点にしたいという思いがあります。ですから、寒河江小、寒河江中部小、南部小、柴橋小については、今後皆さんのご意見を伺いながら検討していくこととなります。ちなみに、多くの学校はどんどん人数が減っているのですが、寒河江中部小学校は人数が増えておりまして、来年度は700人を超える見込みです。現在の段階でも、理科室とかを普通教室にしている状況ですので、来年度、新しい教室を作る予定で議会にお諮りしている状況です。
(発言者C) 南部、寒河江中部となったときに、エリア、子どもたちが通学するのに、なるべく近い方にと考えると思うのですが、そういう場合に、通学する子どもたちの線引きといいますか、そういうのはうまくなっているのか。
(教育長) 学区の区割りはしていますが、学区の端のところだと、例えば、学区の小学校よりも別の学校が近いこともあると思います。それで、寒河江中部小学区では、宅地造成が行われていて、児童数も増えています。ですので、寒河江中部小学区だけでも、南部小、柴橋小が近いという場合は、希望していただければ、南部小や柴橋小に通学することも可能にしています。実際に寒河江中部小学区から南部小や柴橋小、寒河江小も含めてですが、通っている子どもたちも

30人くらいはいると思います。
(発言者C) 希望でいけるのですか。
(教育長) 寒河江中部小学区だけでも南部小や柴橋小に通うことはできます。逆の場合、柴橋小学区だが寒河江中部小にというのは、ご遠慮していただいています。寒河江中部小学区から寒河江小、南部小、柴橋小には申請してもらえれば通えるようにしております。
(発言者B) 今の話で、以前の計画案で、南部小と寒河江小が統合するという話があったが、中間には、中部小のゾーンもあるのかなと思ったのですが、どういう考えで、寒河江小との統合だったのか。
(教育長) 令和4年3月の計画では、ある程度、小学校を統合していくということで、今のお話しにあったようなことも検討するという案もありましたが、説明会の中で、地元を大事にしてほしいというご意見、また、あまり子どもたちが少なくなると困るので早く統合してほしいなどのいろいろなご意見もありました。そこで、それらの統合の案は一度白紙に戻して、今後、皆さんのご意見を伺いながらとしているところです。
(発言者B) 一回リセットしたということですか。
(教育長) 最初の計画では、中部小、南部小、柴橋小の統合も場合によっては考えられる。また、寒河江小学校の、西根小、三泉小の統合校への統合なども検討していくと、つまり、陵東中学区、陵南中学区の小学校の統合も、検討の選択肢としてあったわけですが、そのあたりも含めて、今後みなさんのご意見を伺いながら検討していくという状況です。